



令和3年（2021年）10月28日

山形独自の自然観 “元祖SDGs” の心をみんなに

～「草木塔の心・説明碑」建碑式を行います～

【本件のポイント】

- 山形大学は、新たな寄付プログラム「やまだい未来へつなぐプロジェクト」の第二弾「**「自然と人間の共生」再興（再考）プロジェクト**」を実施しています。
- このたび、相応の寄付をいただき、「草木塔の心・説明碑」をキャンパス内に建立しました。
- 草木をも愛おしむ「草木塔の心」は、江戸時代以来の**山形独自の自然観**であり、本学の基本理念「自然と人間の共生」を具現化するものです。
- 来る11月5日（金）に「**草木塔の心・説明碑**」建碑式を行い、本学学生・教職員はもとより、広く県民の皆さまへ“元祖SDGs”の心を発信してまいります。



【概要】

SDGsをempower!する本学は、これまでの役割をさらに一歩進め、地域社会の持続可能な幸福（sustainable well-being）をもたらす「コモンズ」となることを目指しています。

今年4月には、その目的に向けた取組の一つとして、寄付プログラム「山形大学基金」に、地域社会の皆さまとの信頼関係を構築しながら実施する「やまだい未来へつなぐプロジェクト」を新設し、第二弾として「**「自然と人間の共生」再興（再考）プロジェクト**」を7月にスタートしました（**別紙1**）。

このたび、相応の寄付をいただき、同プロジェクトの一つである「草木塔の心・説明碑」をキャンパス内に建立し、11月5日（金）に建碑式を行います。建碑式には玉手英利学長をはじめ学内関係者のほか、建立プロジェクトの発起人代表として仙道富士郎名誉教授（元本学学長）も臨席されます（**別紙2**）。

本学では、この建碑式を契機として、草や木をも愛おしむ江戸時代以来の山形独自の自然観である「草木塔の心」を学内学生・教職員で再興（再考）し、広く県民の皆さまへ発信してまいります。

“元祖SDGs”の心の発信・普及にご協力いただきますようお願い申し上げます。

【「自然と人間の共生」再興（再考）プロジェクト（やまだい未来へつなぐプロジェクト第二弾）】

□申請者：副学長 林田光祐（山形大学副学長、YU-SDGsタスクフォースリーダー）

□プロジェクト期間：令和3年7月14日～令和4年3月31日

□寄付受入目標額：500,000円

⇒詳細は（**別紙1**）をご参照願います。

【「草木塔の心・説明碑」建碑式】

□日時：令和3年11月5日（金）13:30-14:00

□会場：山形大学小白川キャンパス「草木塔の心」碑付近（法人本部棟東側）

⇒詳細は（**別紙2**）をご参照願います。

お問い合わせ

YU-SDGs タスクフォース

エンロールメント・マネジメント部 校友室

ファンドレイザー 樋口 浩朗

TEL 023-628-4497

メール higu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



再興(再考)プロジェクト ～元祖 SDGs “草木塔の心” をみんなに～

副学長メッセージ

山形大学は、昨年から YU empowering with SDGs の方針に基づき、社会の持続可能な発展に向けた地域の取り組みを積極的に empower!(力づける)しています。

「自然と人間の共生」は、平成 16 年の法人化後に制定した本学の「5 つの基本理念」に明記され、「3 つの使命」と併せて本学における最重要概念となっています。

来年度から始まる第 4 期中期目標期間を前に、“元祖 SDGs” と言える「自然と人間の共生」を改めて再興(再考)し、広く学内外に発信する 4 つのプロジェクトを実施します。

皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



副学長 林田 光祐
(YU-SDGs リーダー)

ご寄付について

詳細・ご寄付のお申込はこちらのページから▶

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>

期間：令和 3 年 7 月 14 日～令和 4 年 3 月 31 日



1

「草木塔の心・説明碑」の建立

本学では「自然と人間の共生」を具体化し、山形独自の自然観を広めることを目的として、平成 19 年に「草木塔の心」碑を建立しました。今回仙道富士郎氏(元山形大学長)を発起人として、新たに「草木塔の心・説明碑」を建立し、その意義を SDGs の観点から再興します。

2

“草木塔の心”の普及

山形県を代表するローカル SDGs である“草木塔の心”を広く普及するためにリーフレットを作成し、本学基盤共通教育科目の教材とするとともに、県内外に配布します。

3

関係論文等のインターネット公開

「やまがた草木塔ネットワーク」等の協力を得て、これまで蓄積してきた『自然と人間の共生』及び『草木塔』に関する論文等を「機関リポジトリ」に登録し、広くインターネットに公開します。

4

公開講座「自然と人間の共生」の開催

「自然と人間の共生」を SDGs の観点で再考し、本学における最新の研究知見と教育実践、学生活動を披露する公開講座を開催します。さらにその成果を山形での SDGs の推進に活かします。

「自然に対する感謝の気持ちを持ちながら、 たおやかに歩みを進めていきましょう」

やまだい未来へつなぐプロジェクト第二弾の「草木塔の心・説明碑」建立事業の発起人である仙道富士郎先生（元山形大学学長）から皆さまへのメッセージをお届けします。

仙道富士郎元学長からのメッセージ

私たちは自然の懷に抱かれて生きています。しかし、そのことを忘れて、我が物顔にふるまった結果、遠くない将来、地球に生物が生存できない状況が到来する危険性さえ危惧されるようになりました。

いま私たちは、猛々しい心を捨て、私たちを育んでくれた自然に対する感謝の気持ちを持ちながら、たおやかに歩みを進めていくことが求められています。

草や木の命をも愛おしんで草木塔を建立した人々の優しい心に想いを寄せることは、私たちを今一度立ち止まらせ、自然と人間の共生を模索する道へと私たちを導いてくれるのではないのでしょうか。

林田副学長からのメッセージ

山形大学では、基本理念の根幹となる考え方で、元祖 SDGs と言える「自然と人間の共生」を象徴する「草木塔の心」碑を、平成 19 年に小白川キャンパス内に建立しました。

このたび、仙道先生の発起により、この碑を SDGs の観点も加味して再考するための「草木塔の心・説明碑」を建立し、本学学生・教職員はもとより、広く市民の皆さまとその精神を共有したいと企画しました。

皆さまからのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



副学長 林田 光祐
(YU-SDGs リーダー)

「草木塔の心・説明碑」を建立します

平成 19 年に人文学部 3 号館南側に建立した「草木塔の心碑」には、本学の基本理念である「自然と人間の共生」と、山形独自の自然観を象徴する「草木塔」について特段の説明書きがないことから、このたび、それらの説明文を刻んだ碑を傍らに建立し（令和 3 年 11 月まで）、多くの方にご覧いただくことによって、「自然と人間の共生」を考えていただくきっかけとさせていただきます。



南米パラグアイ日系移住地草木塔の前にて奥様と

ご寄付について

詳細・ご寄付のお申込はこちらのページから▶

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>

期間：令和 3 年 8 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日





「草木塔の心・説明碑」建碑式 次第

日 時：令和3年11月5日（金）13:30～14:00

会 場：「草木塔の心」碑付近（山形大学小白川キャンパス）

来 賓：仙道 富士郎 様 （山形大学名誉教授・元山形大学学長）

阿子島 功 様 （山形大学名誉教授・元山形大学人文学部長）

吉田 朝夫 様 （石の浄朝有限会社 取締役）

内 容：

- 1 開式の言葉 林田 光祐 副学長
- 2 「草木塔の心・説明碑」序幕 仙道 富士郎 様、玉手英利 学長
- 3 来賓のご挨拶
仙道 富士郎 様
阿子島 功 様
吉田 朝夫 様
- 4 御礼の言葉 玉手 英利 学長
- 5 閉式の言葉 矢作 清 理事・副学長

やまだい未来へつなぐプロジェクト

「自然と人間の共生」再興（再考）プロジェクト

列席者：玉手 英利	学長
林田 光祐	副学長（国際交流・SDGs 担当）
矢作 清	理事・副学長（学生支援・山形大学基金担当）
清塚 邦彦	小白川キャンパス長
荒木 志伸	学術研究院（学士課程教育担当）准教授
小山 和佳	エンロールメント・マネジメント部長
池野 尚美	小白川キャンパス事務部長
樋口 浩朗	エンロールメント・マネジメント部上席専門員